

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事例概要について】

| | |
|-----------------|---|
| 1. 事故・ヒヤリハットの別 | 事故 |
| 2. 体験した事例の名称 | 救急車で走行中、交差点内で右折車両と衝突した。 |
| 3. 体験した事例の中心的要素 | 傷病者を病院に収容後消防署に引揚げる途中、交差点を青信号で直進した救急車と、対向して右折しようとした普通乗用車と交差点中央付近で衝突したもの。 |
| 4. 体験した事例の原因・理由 | 前方不注意及びだらう運転 |

【体験した事例の直接的原因について】

| | |
|------------------|-----------------|
| 1. 体験した事例の直接的な原因 | 行動の意志決定に問題があった。 |
|------------------|-----------------|

【体験した事例について】

| | |
|----------------------------------|---------------------------|
| 1. 発生日時 | 平成 20 年 12 月 24 日 午後 8 時頃 |
| 2. 発生した当時の天候 | 曇 |
| 3. 発生した活動現場 | 屋外：交差点内 |
| 4. 体験した事例の種類 | 回答者が、他人を負傷させた。 |
| 5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度） | 軽傷の怪我をしていた（させていた）だろう。 |
| 6. どのようなことが起きたのか (起きそうになったのか) | 交通事故、 |
| 7. 事例体験時の活動 | 救急帰署途中、 [] |
| 8. (7の活動中) どのような作業中に発生したか | その他：帰署途上 |
| 9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。 | 初めて体験した。 |

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

| | |
|------------------------|--|
| ○当事者 A | 年齢[41]歳、 勤続年数[17]年、 現場経験年数[17] 年、 階級[消防司令補]、 同様の活動 [頻繁]、 任務 [車長] |
| ○当事者 B | 年齢[25]歳、 勤続年数[3]年、 現場経験年数[3]年、 階級[消防副士長]、 同様の活動 [頻繁]、 任務 [機関員] |
| ○当事者 C | 年齢[24]歳、 勤続年数[4]年、 現場経験年数[4]年、 階級[消防副士長]、 同様の活動 [頻繁]、 任務 [隊員] |
| その他 (当事者が 4 人以上の場合) | |

11. 事例発生の経過。

| | 誰(何)が | なにをした | その他・備考など |
|-------|-------|--------------------|----------|
| 経過 1 | 当事者A | 隊長席で、安全を確認した。 | |
| 経過 2 | 当事者B | 安全を確認し、直進しようとした。 | |
| 経過 3 | 当事者C | 患者室で、資器材の整備を行っていた。 | |
| 経過 4 | | | |
| 経過 5 | | | |
| 経過 6 | | | |
| 経過 7 | | | |
| 経過 8 | | | |
| 経過 9 | | | |
| 経過 10 | | | |

【その事例発生時の状況について】

A horizontal line consisting of 20 solid black circular dots, evenly spaced from left to right.

○事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思うか?

ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

その他：安全確保不足

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

- ・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。
 - ・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。
 - ・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。

b 注意力が欠如していた

- | | |
|----------------------------------|-----|
| ・ 1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。 | はい |
| ・ 活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。 | いいえ |
| ・ 体調不良や疲れにより注意力を欠いた。 | いいえ |

c. 経験・知識が不足していた。

| | |
|----------------------------|-----|
| ・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。 | いいえ |
| ・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。 | いいえ |
| ・活動に対する経験が不足していた。 | いいえ |

d. 心身の不調があった。

| | |
|-----------|-----|
| ・体調が悪かった。 | いいえ |
| ・悩み事があった。 | いいえ |

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

| | |
|---------------------|-----|
| ・装備・資機材自体に問題があった。 | いいえ |
| ・装備・資機材の使用方法が誤っていた。 | いいえ |
| ・装備・資機材の対処能力を超えていた。 | いいえ |
| ・必要とする装備・資機材がなかった。 | いいえ |

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

| | |
|---------------------------------|-----|
| ・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。 | いいえ |
| ・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。 | いいえ |

g. 行動しにくい環境だった。

| | |
|------------------|-----|
| ・狭隘な場所であった。 | いいえ |
| ・暑かった（寒かった）。 | いいえ |
| ・野次馬が多かった。 | いいえ |
| ・現場周辺の地理に不案内だった。 | いいえ |

h. 足場が悪かった。

| | |
|-------------------|-----|
| ・足元が躊躇したり滑りやすかった。 | いいえ |
| ・足元の強度が不足していた。 | いいえ |

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかつた（適切な指示を与えられなかつた）。

| | |
|-------------------------------------|-----|
| ・活動指示が得られなかつた。（無線が通じない等。） | いいえ |
| ・指示内容に誤り・偏りがあった。 | いいえ |
| ・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。） | いいえ |

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

| | |
|----------------|-----|
| ・隊員の連携が不十分だった。 | いいえ |
| ・隊員が不足していた。 | いいえ |

○その他

l. その他の理由があつた。

| |
|-----|
| いいえ |
|-----|

【事故発生後の取り組みについて】

・・・・・・・・・・・・・・・・

○注意力欠如、焦り等の対策について

署として : 検討会の実施
個人として : 体調管理及び声出しによる安全確認の実施
隊として : 隊長及び機関員両名による安全確認の実施

○装備・資機材の対策について

○活動環境の対策について

○指揮・情報伝達の対策について

